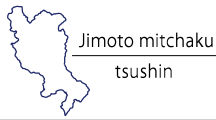


地 元 密 着 通 信

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！



あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！



「せーの！1、2、1、2...」心をひとつに頑張ったムカデ競争です。

大 イベントである川俣町健康づくり大運動会が、9月24日に川俣町体育館で開催されました。玄関ロビーには「健康づくりコーナー」が設置され、血圧や握力、肺活量、体組成計など測定していました。開会式の中で、第9ブロック福沢の勇士達5人が「皆で一生懸命頑張ります」と選手宣誓を行いました。玉入れや綱引き、小学生リレーなど、応援していた観客は「元気に走っている子供達のごと見でつと、気持ちいい」と手を叩いていました。総合順位は7位。関係者や選手のみなさん、お疲れ様でした。

福 沢自治会

菅野 奈美子 通信員



福沢の勇士、選手宣誓



来年度の干支にちなんで、PPバンドで作られた戌の作品も展示されました。



1 月11日から12日の2日間にわたり、鶴沢公民館にて『平成29年度つるざわ文化祭』が開催されました。地区の皆様より大変素晴らしい作品を出品していただき、訪れた方々の心を和ませる充実した展示内容となりました。体験コーナーでは、PPバンドの作品展示や販売等、大変賑わっていました。2日間で244名の方々が来場され、来場者からは、「毎年楽しみにしているんだよ。」などの喜ばしい声も聞かれました。鶴沢地区の結集により、大盛況のうちに終了することが出来ました。

鶴 沢地区自治会

斎藤 春美 通信員



つるざわ文化祭開催



台風の後で心配されていた天気も良く、リフレッシュながウォーキングができました。

小 神公民館主催によるウォーキング秋季移動教室が、10月25日に開催されました。まず最初の目的地、小峰城に到着。3・11の大震災の被害を受け、石垣等修理中でしたが皆で天守閣に登り、白河の街並みを一望することができました。次に南湖公園に15分ほど着き、国指定史跡の名勝地を散策。途中で昼食をとり、きれいに色づいた紅葉の中で、思い思いに公園を一周しました。バスの中での交流、親睦も十分図られ、参加者18名全員が楽しい1日を過ごすことができました。

小 神自治会

斎藤 貞子 通信員



ウォーキング秋季移動教室

す

みよし自治会

渡辺 秀雄 通信員



看板を新調しました

みよし自治会環境福祉委員会では、地区の花壇を整備して、

10月30日と31日に花の植替えをしました。台風21号、22号の影響で10日間も遅くなってしまいました。会員約30名が参加して、色とりどりのすみに植替えました。

今回、地区の花壇2か所と連環橋、向上橋に置かれた看板を新調して、さらなる復興を願った文言に書き換えました。

冬に向かい花々の少なくなる季節ですが、華やかになった花壇は、新しくなった看板とともに、通りかかる人々の目を和ませています。



新しくなった看板ときれいな花を、ぜひご覧ください。

中

央自治会

藤野 由紀子 通信員



人との繋がり、大事です

10月14・15日に秋季祭礼が行われました。初日は小雨模様でしたが、子供達のでてる坊主のおかげか、子供みこしが行われる頃には雨があがりませんでした。

吐いた息が白くなる夜。今年は趣向を凝らし、太鼓屋台から法被にイルミネーションを輝かせ、華神輿が町内を勇壮に練り歩きます。

スポットライトを当てられた華は神輿の上で凜と立ち、祭りに華をそえてくれました。後におでんの温かさに微笑む華はとても優しいので、「また来年。」と絆を深める一日となりました。



22人の子供達は、て組若連顔負けの回転神輿をみせてくれました。



中

丁自治会

三浦 雅次 通信員



「母心」お笑いライブ川俣公演!

コンビ結成10周年を迎えた、人気芸人「母心」の「59市町村

ありがとない」福島感謝お笑いライブツアーが川俣会場として、常泉寺本堂で行われました。当日はコスキン祭りの代表選考会と重なり人手が心配されましたが、大勢の聴衆が集まり、会場いっぱいになりました。

ライブはふくしま弁に戸惑った話や、十八番の歌舞伎役者だったらの話、子どもたちとの掛け合いなど、アクションを交えながら熱演する二人の漫才に、会場はずいっと笑いの渦で、終演後はサイン会で親交を深め、大笑いの一夜となりました。



母心グッズを求めるファンで大混雑!

小

島自治会

落合 幸男 通信員



御霊神社秋の例大祭

小島地区の御霊神社秋の例大祭が、10月18日に行われました。

この日は平日のため、会社を休んだ大人たちと学校を早退した子供たちが、秋晴れの下、沿道にくり出しました。

小島地区の秋祭りは、神輿行列と、4年に一度各地区から手作りの山車がくり出されます。山車が毎年ではなく4年に一度にした理由は、親子の絆、思い出づくりのためです。と氏子代表の方が話していました。また4年後も、下の世代の若者に引き継ぎ、小島地区の1つの文化として続けていきたいと思えます。



200人近くの人たちが祭りに参加してくれました。ありがとうございました。